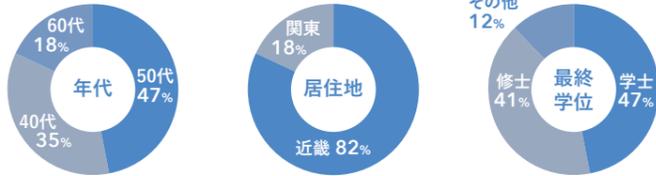


# DATA

## 受講生データ

※データは全て2024年度修了生の実績



### 文部科学省 職業実践力育成 プログラム(BP)認定講座

厚生労働省 教育訓練給付制度(特定一般教育訓練)  
厚生労働大臣指定講座  
(指定番号 2722004-2310013-4)

産学連携教育イノベーター育成プログラムは特定一般教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座です。一定の条件を満たした方に、受講者本人が支払った受講料(教育訓練経費)の40%(12万円)<sup>※1</sup>が修了後に公共職業安定所から支給されます。教育訓練給付制度の受給希望者は、募集要項とともに、特定一般教育訓練の「教育訓練給付金」のご案内(厚生労働省Webサイト)をご参照ください。

※1 支給額の上限は20万円であり、本プログラム(講座)の受講料30万円の40%に相当する額が12万円です。

### お問い合わせ

〒599-8531  
大阪府堺市中区学園町1番1号 A6棟312(中百舌鳥キャンパス)  
大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム  
アントレプレナーシップ教育力育成コース事務局  
大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター内

☎ 072-252-6183  
✉ las-jitsumuka.ep@ml.omu.ac.jp  
<https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/>



# ACADEMIA INDUSTRY BRIDGE PROGRAM FOR EDUCATIONAL TRANSFORMATION

産学連携教育イノベーター育成プログラム  
アントレプレナーシップ教育力育成コース

## アントレプレナーシップ教育力育成コース

## MESSAGE

誰ひとり取り残さない社会の実現にむけて、我々に今何ができるか。高等教育機関としての大学には、真理の探究や専門的学問を教授するという従来からの使命に加え、社会との関わりの中で多様な知を活用し、来るべき未来社会の創造に寄与する人材を育成し輩出することにも、多くの期待が寄せられています。

このような要請に応えるため、大阪公立大学では、産業界や行政機関と連携し、アントレプレナー精神を有し社会を変革に導くことができる高度研究者の育成に取り組んできました。その

大阪公立大学 副学長(イノベーションアカデミー、高度人材育成担当) 高度人材育成推進センター長 国際基幹教育機構 教授 松井 利之

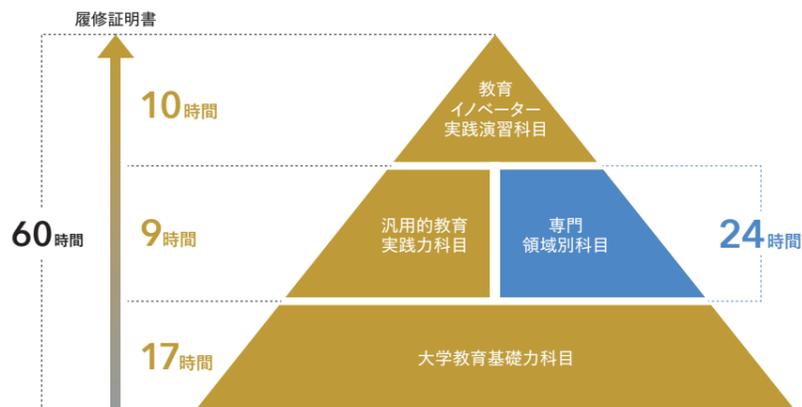
経験を活用し、次代のアントレプレナーシップ教育を担う実務家教員の育成を目指し、「産学連携教育イノベーター育成プログラム」を開講します。企業や自治体、NPOなど、社会のあらゆるセクターで実務経験を積んだ方が、自らの経験に基づいた実践的な知に立脚し、大学教員や学生と共に多様な専門知を活用して、新たな価値創造基盤の構築と人材の育成に取り組むための様々な知識、経験、ノウハウを提供します。

どんな環境でもあきらめず学びを継続する。それこそが他者として自らを成長させる。そんな経験を共にしてみませんか。

## アントレプレナーシップ教育を担う実務家教員を目指す

「産学連携教育イノベーター育成プログラム」は、産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人材を各界へ輩出するため、その中心的役割を担う実務家教員を育成することを目的としています。アントレプレナーシップ教育力育成コースでは、起業時や企業での新規事業開始にあたり必要な基礎知識を学ぶとともに、それらを指導・教育するための手法や技能を習得することを目的とします。本コースでは特に、高度な科学技術研究成果の事業化や産業化を例に、その際の考え方・プロセス、起業に必要な基礎知識を学びます。そして、複数の事例に基づく実践的な演習に取り組むことで、技術マネジメントの幅広い知識とアントレプレナーとして必要な素養の修得、および、その効果的な教育手法の体得を目指します。

## プログラムの科目構成と履修構造



本プログラムは4つの科目で構成されています。まず、大学教員としての教育基礎力(基礎的知識・スキル・態度)をオンラインで学ぶ①「大学教育基礎力科目」(17時間)を履修したうえで、教育方法のスキルを演習形式で学ぶ②「汎用的教育実践力科目」(9時間)、汎用的専門性獲得のための「専門領域別科目」(24時間)を履修します。これらの履修をベースに、教育イノベーターとして活躍していくための資質・能力を確保するための④「教育イノベーター実践演習科目」(10時間)を履修します。計60時間のプログラムを修了した際には、大阪公立大学長名にて履修証明書が発行されます。

<b>応募資格</b>	下記、①②の両方を満たす方。 ①大学を卒業した方又はこれと同等以上の学力があると認められた方 ②原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務経験を有する方	<b>定員</b>	25名
<b>受講期間</b>	9か月(7月から3月)	<b>募集期間</b>	【一次募集】2025/3/18~4/18 【二次募集】4/21~4/30 ただし、一次募集で定員に達した場合は二次募集を実施しません。
<b>履修時間</b>	60時間	<b>受講料</b>	300,000円
<b>受講形態</b>	①大学教育基礎力科目 オンライン非同期 ②汎用的教育実践力科目 オンライン同期 ③専門領域別科目 オンライン非同期、対面またはオンライン同期 ④教育イノベーター実践演習科目 オンライン非同期、オンライン同期、対面またはオンライン同期	<b>対象</b>	企業や地方公共団体及びその他の団体等での実務経験を有し、今後、大学など高等教育関連機関での職を目指す方、高等教育の教育研究に関心のある方等。
		<b>応募方法</b>	大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム Webサイト( <a href="https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/">https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/</a> )から応募紙をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、ご応募ください。詳細は、募集要項・科目概要・日程表をご参照ください。

## 学習成果

本プログラムが育成する実務家教員「産学連携教育イノベーター」の人材像に必要な到達目標として、次の3つの学習成果の獲得を掲げています。

- 1 大学教員として教育を担うための**基礎的知識・技能・態度**を身につける
- 2 **専門領域(汎用的な専門性)における教育実践力**を身につける
- 3 学びと社会を繋ぐ**実践知・学術知**往還及び学習成果のエビデンスに基づく**教育変革**を先導する「**教育イノベーター**」としての**変革力**を身につける

## コースの到達目標

- 技術マネジメントの基本的な考え方を理解し、説明できる。
- 事例に基づく技術マネジメントの指導力を身につけ、実践できる。
- アントレプレナーが理解しておくべき基本的知識を理解し、説明できる。
- アントレプレナーの育成体系を理解し、それを実践できる。

## プログラムの特徴

## 経験豊かな学内外講師陣

大学の現場を知る多彩な講師陣が、教育に関する知識とスキルを指導します。

## 働きながら学べる研修設計

授業支援システム(LMS)を使用してeラーニングコンテンツを配信します。対面実施の演習はオンライン同期型での受講も可能です。

## 充実した学習支援体制

受講アドバイザーを配置し、メールマガジン等を通じてきめ細やかな情報を提供します。

## 担当教員からのメッセージ

実務家としての経験を生かし、大学という場で自らが持つ知識や技術を学生に伝えていきたい、そう考えておられる方は多いでしょう。しかし、教育で大切なのは、必ずしも、伝えることではありません。学生たちが知識や技術を我が物とすること、それによって、学生たちが変わり成長していくことこそが大切なのです。教員としてその手助けをするために必要な知識やスキルを、本プログラムを通して身につけていただければ幸いです。

大阪公立大学 高等教育研究開発センター副センター長 国際基幹教育機構 教授  
星野 聡孝

社会を変革に導くアントレプレナー精神も、磨き、次世代に伝えるべき重要な知恵です。実務家教員として、皆さんにはぜひこの伝承者になってほしいと願っています。最終的には、「教育とは何か？」を問い続けることになります。学生とともに学び、自身も成長していくことが大切です。苦労もありますが、大きな喜びもあります。それは自身の成長を感じることができるからかもしれません。ぜひ、アントレプレナーシップ教員にチャレンジし、その「楽しさ」を実感してください。

大阪公立大学 国際基幹教育機構 特任教授  
広瀬 正

産学連携教育イノベーター育成プログラムでは、学習進捗のサポートをする受講アドバイザーを配置し、学習の中での疑問、社会人と勉学の両立、新しい分野の学び直しに、不安な部分も、安心して取り組んでいただけるサポート体制を整えています。実務経験を知識や学びにつなげ、教育の場で活用できるよう、受講生自身がアントレプレナーシップを発揮し、主体的に学びに取り組み、活用することで、実務家教員としてのキャリアの道を開いていただければ幸いです。

大阪公立大学 国際基幹教育機構 講師  
山田 裕美